

秋原西嶠 あきはら せいざう 儒者。文政十一年江戸生れ、明治二十一年二月十九日歿（一八二九—一九八）。諱裕、字公寛、のち好問、通稱英助。叔父秋原縁野の學び、林洞海、杉田成卿の洋書を學ぶ。明治初年今治藩に聘せられて藩政に加はる。廢藩後は修史局に出仕。その後私塾を開くと、更に大政官、宮内省の文書編纂に従事。

『鹿鳴園叢書』（第一集・明治二十四年十月十日全港堂本店）、『顯承述略續』全一冊（明治二十九年大長節西嶠精舎活版記）、『論語講義』（明治四十二年二月十三日益友社）等がある。